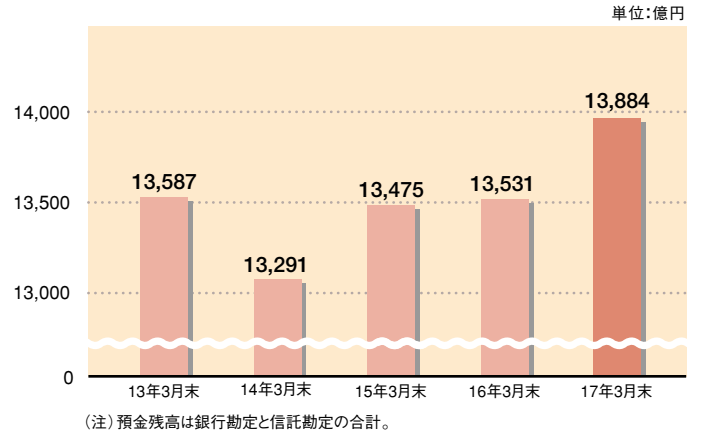


預金

個人・法人部門は順調に増加

預金の期末残高は、期中352億円増加して1兆3,884億円となりました。部門別では、公金預金は減少しましたが、個人預金は宝くじ付き定期預金等が好評であったことから増加し、法人預金も順調に増加しました。

[預金の推移]

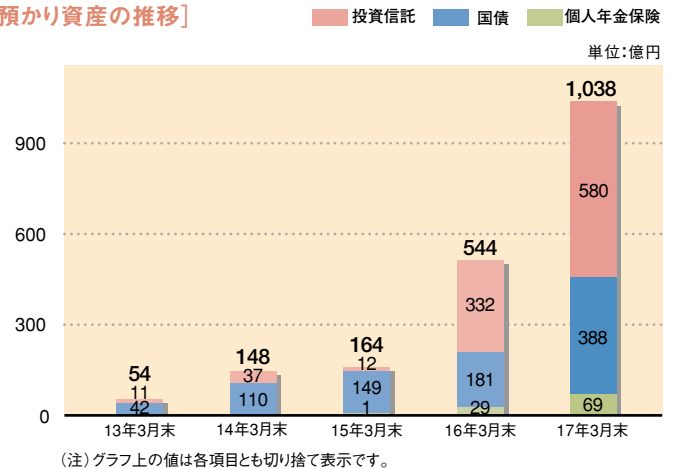


預かり資産

預かり資産は大幅に増加

預かり資産（投資信託、国債、個人年金保険）の期末残高は、お客様のニーズに合った資産運用の提案に努めたことから、投資信託や個人向け国債の販売が順調で、期中494億円増加の1,038億円となりました。

[預かり資産の推移]



コア業務純益

コア業務純益は4期連続で過去最高を更新

コア業務純益^(注)は、預金や貸出金、為替業務などであげた利益（業務純益）から一時的な変動要因を除いた、銀行の本来業務での収益力を表す指標で、一般企業の営業利益に相当する概念です。今期のコア業務純益は、貸出金利回りの低下により貸出金利息は減少しましたが、住宅ローン債権の証券化に伴う貸出債権売却益の計上や有価証券利息の増加などから、前期を24億50百万円上回る168億24百万円となり、4期連続で過去最高を更新しました。

[コア業務純益の推移]

